

東山地域観光案内標識デザイン・アイデア審査の結果を受けて

～東山地域観光案内標識等ネットワーク化に向けた今後の展開～

「東山地域観光案内図板等ネットワーク化に関する調査」〔平成19年3月〕で明らかになった課題（多種多様な設置主体による案内標識等の乱立，表記の不統一・メンテナンス不足，相互の連携が図られていない等）を解決するため，東山地域観光案内標識等ネットワーク化推進協議会を設置し，「東山版・観光案内標識等ガイドライン」の作成を目指した取組を展開。

区民・来訪者参加型のデザイン，アイデア募集等の取組を通じて，すべての観光案内標識等設置者が，来訪者の視点に立った東山区にふさわしい観光案内標識等を設置するよう，観光案内標識への関心と景観への意識向上を図ることを目的とし，「東山版・観光案内標識等ガイドライン」の策定につなげていく。

○観光案内標識等デザイン・アイデアの募集

→ 30のデザインと21のアイデアが応募

○区民・来訪者等によるデザイン投票の実施

→ 1000名を超える投票

全国の人々の東山地域への関心が高いことの現れ

観光案内標識の重要性を広く喚起するとともに，東山にふさわしい観光案内標識を考える機運を高めることができた。

デザイン投票の結果から，統一したデザインの選定は難しく，多種多様なデザインのニーズがあることが判明。今回の応募作品のデザインやアイデアから以下のことが読み取れる。

<共通事項>

- ・京都らしい和を重視したデザインとすること
- ・周囲の景観に調和したものとする
- ・現在地をすぐに分かるように表記すること など

<記載内容を配慮すべきこと>

- ・最寄りの公共交通機関や近辺の観光地情報とその距離を記載すること
- ・地図を表示する場合は，地図を見る方角と同一にすること
- ・誰もが分かりやすいユニバーサルデザインとすること
- ・案内標識が設置されていることがすぐに気づくような工夫をすること
- ・多言語表記とすること など

<その他>

- ・陶板など東山地域ならではの素材を活かしたものとする など

東山3K（観光・交通・環境）協力金会議の取組として，協議会で議論された東山にふさわしい観光案内標識を設置するとともに，その効果の検証を行う。

○東山3K（観光・交通・環境）協力金会議ホームページ <http://www.higasiyama3k.org/index.html>



～東山版・観光案内標識等ガイドラインの策定に向けて～

今回の取組を活かして，「東山版・観光案内標識等ガイドライン」の策定につなげる。